

これで安心

追分乳児保育所がオープン

県内町村では、初めてという三歳未満児を対象にした追分乳児保育所が四月九日、入所式と同時にオープンした。

同保育所は、昨年八月に着工同十二月に総工費三千七百三十万円で追分長沼地区にできあがった。

面積は五百五・五六㎡で、ほふく室、ベッド室、保育室の他調理室、事務室など十一室が設けられ、室内を常に一定の気温に保つため冷暖房も完備されている。

同保育所に入所したのは、一歳未満が七人、一歳から二歳未満が十六人、二歳から三歳未満が十七人の四十人で、秋田市からも六人入っている。このうち一世帯から二人入所しているのが六組もある。

この施設は完全給食で、栄養士、調理師と健康管理の面では看護婦が配置され、週一回程度嘱託医が往診して、子どもたちの健康状態を調べることになっている。

完成により、若い夫婦の共かせぎ世帯が年々増加している現在、いままでは、他の人を頼んだり、近所に預けたりすることもなくなり、若いおあさんたちは「もう、これで安心」と、肩をなでおろしている。

十二人の保育さんたちも、早く子どもたちになじもうと、真剣な表情でがんばっている。

元気にハイイ

また、九日に行なった式ではひとりひとりの名前が呼ばれ、二歳以上の子どもたちは、元氣



▲さあ！ オヤツの時間ですよ
みんな食べ終わり、牛乳でノドをうるおす。

に「ハイイ」と返事。あとは、おあさんが代返という、親子のむつまじい光景もチラホラ。

今月から戸籍などの事務も受け付けます

追分乳児保育所では、今月から、戸籍の謄本、抄本、住民票などの一部事務の受け付けをします。

受け付けするものは、次のとおりです。

- ▼戸籍謄本、同抄本 ▼住民票謄本、同抄本 ▼身分証明書(印鑑必要)
- ▼国民健康保険証の再交付(同) ▼老人医療

田植えは千三百円

48年度の農業労賃決まる

昭和四十八年度の農業労賃が決まった。

この農業労賃は、農繁期労働力の確保を図る立場から前年度農業労賃実支払額、農外諸賃金などを考慮して、農業委員会が協議の上定めたものです。

他町村からの雇用、町内、部落内からの雇用を問わず固く守ってください。

農業労賃は次のとおり

- ▼田植 千三百円
- ▼畑苗代 男女共千二百円
- ▼折衷 男女共千三百円
- ▼代かき 男千八百円、女千三百円
- ▼稲刈(手刈) 男女共千三百円
- ▼コンバイン(十アール当たり) 九千円、ハーベスター(十アール当たり) 三千二百円
- ▼田作業 男千八百円(くろき)
- ▼女千三百円(除草等)
- ▼畑作業 女千二百円
- ▼耕うん機 整理田二千二百円

受給者証の交付申請(同) ▼老人医療費請求書の交付 ▼乳児医療受給者証の交付申請(印鑑必要、他町村で出生届けをしたもの) ▼児童手当への申請(印鑑必要) ▼身障者の診断書用紙の交付 ▼身障者手帳の交付申請(印鑑、写真必要)

▼身障者の運賃割の引き券の交付 ▼保育所の入所申し込みの申請 ▼生活保護法による診療依頼書の発行 ▼出かせぎ互助会加入申し込み(印鑑必要)

▼交通災害共済加入申し込み(同) ▼犬の登録(種類、年齢、毛色、性別、体格、犬の名)

未整理田二千三百円、千拓田二千四百円(いずれも十アール当たり)

代かき 整理田千六百円、未整理田千七百円、千拓田千八百円(いずれも十アール当たり)で構造改善事業は場の整地作業を含む場合は、整理田の労賃に三百円加算)

トレーラー運搬 一日五千二百円

なお、他町村並びに他部落からの雇用の場合は交通費は実費加算し、いっさいの作業に「まかない」はつけないものとす

【交通指導隊】

- ▼会長 児玉長栄 ▼副会長 戸田馨 ▼隊員 佐藤兼好、児玉正光、佐々木達郎、鎌田悦郎、佐藤昇、沼田捷雄、鈴木順一、丸野内多助

新役員

【交通安全推進員】

- ▼塩口 佐藤幸孝、桜庭兼治
- ▼中羽立 菅生民夫、菅生喜作
- ▼羽立 鈴木勇幸、安田喜久雄、鈴木カネ
- ▼大崎 三浦喜代春、三浦正春、吉田キミエ
- ▼渋谷 石川金作、桜庭ナカ
- ▼児玉 菊地セツ、菊地太郎
- ▼二田 佐々木忠春、加藤ナカ、小玉好美、真壁キヤ
- ▼天王 児玉兼蔵、三浦金吉
- ▼西村 キヤ、菊地利春 ▼江川 藤原幸雄、伊藤チャ
- ▼下出戸 佐々木清実、佐々木アヤ子
- ▼浦沼 鎌田義信 ▼細谷 菅原良蔵 ▼上出戸 菊地金四郎
- ▼菊地 アサ子 ▼出戸 新町 川端徳一、馬場恵子 ▼三軒屋 佐藤テル ▼追分 中川スエノ、渡部喜美雄 ▼追分西 銭谷キリノ

【婦人会】

- ▼会長 真壁キヤ ▼副会長 菊地トメ、桜庭ミヨ、児玉チヤ
- ▼安田 咲子 ▼監事 石川スギノ、菅生正子 ▼事務局 三浦絹子

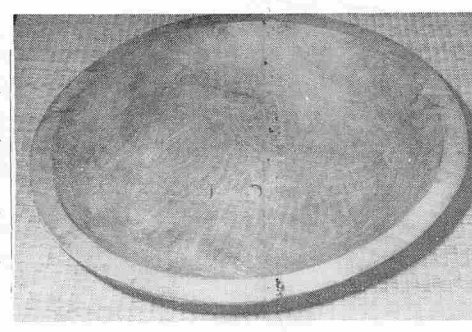
【青年会】

- ▼会長 佐々木敏昭 ▼副会長 長 佐々木芳丸、大関悦子、菊地利春 ▼監査 堀井克見、鈴木昇、菊地勝雄 ▼理事 三浦猛、京谷広美、石川善太郎、鈴木みつ子、児玉美江子、金子司
- ▼安田 新一、加藤良勝

民具の紹介

キバチ(木鉢)

これは食用のコナ類をコネルときの道具で、大形のキザラ(木皿)とよんでもよい。木質はホウ(朴)かカツラ(桂)のように柔かくみえる。正月やお盆や彼岸など家庭行事のあるたびに使用された。至極なつかしい思い出のものである。



役場異動

(四月一日付)

【配置転換】

- ▼追分乳児保育所 (二田保育所) 佐々木サチ子
- ▼同(穂丈谷地同) 佐藤エイ
- ▼同(大崎同) 菊地紀美子

【任用】

- ▼二田保育所 渡部厚子
- ▼穂丈谷地保育所 伊藤良子
- ▼大崎保育所 菊地悦子
- ▼追分乳児保育所 主任 保母 成田初子 ▼同 斎藤ホヨ子
- ▼同 水沢静子 ▼同 泉講子
- ▼同 佐藤百合子 ▼同 宇佐美悦子
- ▼同 伊藤栄子 ▼同 田口かをる ▼同 伊藤スズエ
- ▼同 栄養士 鈴木優子 ▼同 看護婦 目黒信子 ▼天 玉幼稚園 鷺谷良子

事業所めぐり

アキタ電子K.K.

楽しく働き、よく遊べ——アキタ電子K.K.のモットーである。

同社は、昭和四十四年に、国際電気KKが日立製作所と共同出資、資本金三千万円で県の誘致工場として、追分北野地区に設立された。

ここで作られるものは、トランジスタ、IC、半導体製品が主なもので、できあがった製品は、日立製作所高崎工場、武蔵工場におさめられる。この製品は、ラジオ、テレビ、テープレコーダーなどの他、コンピュータ、宇宙通信用の精密機械にも使用されている。

現在、従業員は六百三十名で約八割が女子従業員で、二交代勤務のシステム。パートタイム以外は、全寮制をとっている。また、医療機関とも契約し、診



▲トランジスタの調整をする従業員

療所を設け、健康管理にも力を入れている。

同会社の佐藤総務部長は、いまサラリーマンの注目を集めている週休二日制についても積極的に「休日、日曜、祝日の他に毎月第一、第三土曜日を休日とし、隔週ではあるが週休二日制を採用しており、明るく楽しく働くことを合いことばにしている」と強調。また、求人についても「ほとんどが未婚女性なので、結婚適齢期になると退職するケースが多く、退職率は毎月四％にあたる」と、若い女子従業員をかかえた悩みもチョロビリ。「しかし、毎年新入社員が約百名、中途入社、また、定着化をはかるため、教育指導訓練も実施している」と、そんな心配はいらないことものべる。

従業員たちは、洋、和裁、生

27日に

春季野球大会

町野球協会では、第十一回目の全町野球大会を五月二十七日の日曜日、天王中グラウンドで行ないます。

ことしは、春秋二回計画していますので、多数参加してください。

大会要項は次のとおり

- ▼日時 五月二十七日(日) 午前八時から
- ▼場所 天王中学校グラウンド
- ▼資格 町内に居住、または勤務しているもので、十三歳以上
- ▼申し込み先 および期日 五月十九日(土) 正午まで、メンバー表を添えて公民館石川まで申し込んでください。

なお、監督会議と抽選は、五月十九日午後一時から町公民館で行ないます。

花と女らしさにも身を入れる一方、バレーボール、テニスなどスポーツも楽しみ、健康で豊かな毎日を過ごしている。

上戸老ク

で清掃奉仕

このほど、上戸老人クラブ(菊地米吉会長)の会員三十五名で、同部落の北野神社や遊園地の清掃奉仕作業を行なった。

同老人クラブでは、毎年一月に定期総会を開き、年間の事業計画を決めており、慰安旅行や生涯教育の一端を見せる講師を頼んでの話し合いました、今回行なった清掃奉仕作業なども同クラブ事業計画の一環で、十月にも行なう予定であり、活発な活動を続けている。

なお、この日は別に八十歳以上の高齢者表彰も合わせて行なった。

羽立第一集団栽培組合

羽立に育苗センター

あと地にはマスクメロン羽立地区に育苗センターがで

学級生を募集

町公民館では、ただいま次の学級生を募集しています。ご希望の方は、どしどし申し込んでください。(TEL三〇一、三五〇)

楽焼き教室

◎対象 天王町に在住している青年から老人まで、男女は問いません。

きあがった。

このセンターは集団栽培により生産基盤の確立を図り、生産効率をあげるため、羽立第一集団栽培組合(西村由蔵会長)で作ったもので組合員八人で構成されている。

町では稲作の近代化やうまい米づくりを重点施策のひとつとして、かなり力を入れている。しかし、ポイントはいかにして丈夫な苗を育てるかということとで、先月十二日にこのセンターで初めての種まきをした。

品種はササニシキ、ハツニシキ、キヨニシキ、トヨニシキの四品種で合計五十ヘクタール分の育苗となり、その成果が期待されている。

また、この硬化施設のあと地千二百三十七・五平方メートルに、三・三平方メートルあたり約六キログラムの生産を見込むマスクメロンの栽培を計画しており、育苗と同様に期待されている。

なお、このセンターの設置費用六百五十六万四千五百円の内訳は、出芽緑化室に百二十二万六千円、硬化室に七十五万円、作業室に五十五万円などで、このうち県、町、農協などの補助が二百三十一万六千円で、自己負担(組合)が八十五万八千五百円となり、残額三百三十九万

婦人会だより

円は農業近代化資金を利用している。

このほか、町では同じ羽立地区の青年部で行なっている育苗ハウス設置補助金として三十万円を助成している。

今年度の第一回役員総会が、このほど開かれた。当日、決められた事業計画は次のとおりです。

- ①消費者研修 全体研修 食品添加物のいろいろについて、役員研修 安全性、経済的な電気の使用方法について
 - ②日赤、共同募金、環境衛生に協力
 - ③養老院慰問、郡大会に参加 県体育祭に参加
 - ④交通安全部を設定、春秋街頭指導をする
 - ⑤年一回会報を発行
- ◎ことしの重点目標
- 消費者の姿勢として
- ①ゴミ公害にもなる過大包装 追放運動として、買い物には、必ず、ふるしき、入れもの持参運動を実施する。
 - ②物価値上がりを防ぐため、必要性を考えてから買い物をする。買い控え運動を実施する。

青年学級

◎日時 月三回、午後六時から九時まで。

◎対象 天王町に在住している青年。

◎運営 学級生の主体的運営で組織をつくり、公民館職員とともに運営にあたります。

◎内容 講義、話し合い、実習、実演等。

◎日時 四月から三月まで。

謡曲、仕舞教室

◎対象 天王町に在住している方で、年齢、性別は問いません。

